

企業
情報

松永瓦斯株式会社
業種：専門技術・サービス業
従業員規模：11～50人

課題
分類

業務プロセスの効率化
顧客（取引先）との関係強化

DX実践の
目的

バックオフィス

LPガスの自動検針により訪問が不要に。保安点検や販売活動を強化

課題
内容

- 通常のLPガス販売事業（点検・販売、工事等）に加え、毎月3,200件を超えるガスメーター使用量の検針も社員が行っていたため、多くの時間を要する検針時間の削減は急務だった。
- 検針は現地で直接メーターを確認する必要があり、移動時間、顧客との訪問時間を調整するのが課題だった。
- 敷地内に入るため、家主の在宅時でなければ検針ができないなど、検針がスムーズに進まず残業時間が増加していた。
- 検針に時間をとられ、企画・販売などの時間が削られていた。

実施
概要

- LPWA通信システム（無線通信技術）を利用して遠隔で検針やガス栓開閉を行うLPガス検針システムを導入。各顧客宅のガスメーターにLPWA機器を設置した。
- 顧客の利用データがリアルタイムでシステムに登録され、即時に確認・分析ができるようにした。ガス検針や機器の状態を遠隔で監視し、必要に応じて操作を行えるようにした。

効果

- 検針のための現地訪問がなくなり、月144時間の検針時間が削減でき、人件費や燃料費が年間36万円削減できた。また、検針日の調整や顧客が在宅している必要がなくなり、顧客満足度がアップした。
- 削減によって生まれた時間を使って、定期的に行うガス機器法定点検に計画的に取り組めるようになるとともに、工事作業、各種販売業務、企画・新サービス検討などに時間を使えるようになった。修理・点検依頼にも迅速に対応できるようになった。

苦労話

LPWA機器を設置する際、対象の顧客の理解を得るため、対面による口頭説明を実施した。また、設置場所によっては通信状態が不安定なこともあり、場所を移動するなどの調整を行った。

IT
ツール

【使用ツール】LPWA通信システム
【取り扱い企業】矢崎エナジーシステム株式会社 <https://www.yazaki-group.com/company/energysystem/index.html>
【ツール概要】遠隔地からガス栓の開閉や検針が可能な通信システム

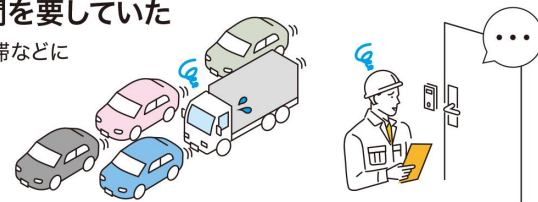


Point

- ・LPガスの検針を遠隔で行えるようになり、月144時間の検針時間と年間36万円の人件費、燃料費を削減
- ・修理や点検が迅速に行え、顧客満足度がアップ

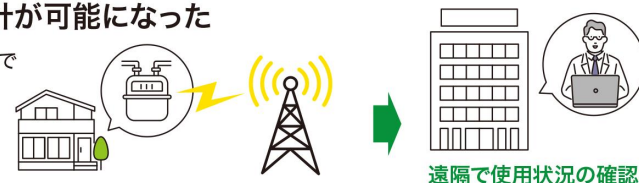
【導入前】現地でのガスメーターの検針作業に多くの時間を要していた

- ◆ 検針先への往復移動や渋滞などに時間がかかる
- ◆ 約束時間に訪問しても、留守で検針できない



【導入後】LPWAを利用したLPガス検針システムを設置し、遠隔で検針が可能になった

- ◆ 毎月の検針データが自動で反映されるため、検針のための訪問が不要に



- ◆ 販売実績を増やすための企画や検針



- ◆ 顧客との商談時間を十分に確保



人件費・燃料費削減

業務効率化

顧客満足度の向上

補助金活用

構造改善推進事業補助金